

第3回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第3回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成26年6月26日（木）午前10時～12時
場 所	杉並第四小学校 図書室
出 席 者	協議会委員24名（欠席5名）
傍 聴 者	6名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 目指す学校像について 2 新校校地の用途地域について 3 視察について 4 その他
資 料	<p>資料1 高円寺地域が目指す新しい学校像について</p> <p>資料2 新校の校地について</p>

会長	<p>おはようございます。お忙しいところ懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>では、ただいまより第3回新しい学校づくり懇談会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、欠席の方です。高田委員、吉田委員、横山委員、伊勢委員、松谷委員から連絡を頂戴しております。</p> <p>あと、まだ若干お見えになっていない委員もいらっしゃるのですけれども、始めさせていただきたいと思います。</p> <p>また、本日傍聴の方もいらっしゃいますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、配付資料の確認させていただければと思います。</p> <p>（配付資料確認）</p> <p>では、本日の次第に沿って進めていきたいと思います。前回本当に皆様方からたくさんのお話を頂戴しました。目指す学校像というところでお話をいただきまして、資料にまとめております。</p> <p>前の懇談会では、委員さん同士で密に懇談できるような場があってもいいのではないかというようなお話を頂戴しています。その後、事務局とも相談しまして、本日は皆様を4つのグループに分けさせていただきまして、懇談の時間をとってみたいというふうに考えております。</p> <p>次回視察ということで渋谷区の学校に行くのですけれども、それに向けて我々の中で新しい学校のイメージを膨らませた中で、行ければなというふうに思っています。</p> <p>その方法等につきまして、事務局からご説明いただければと思うのですけれども、お願いできますでしょうか。</p>
----	--

<p>新しい学校づくり係長</p>	<p>おはようございます。前回の懇談会では、「目指す学校像について」という大きなテーマで各委員の皆様から、さまざまな観点からご意見をいただいたところでございます。その意見を4つのカテゴリーに分けまして、集約させていただいた資料が資料1ということになります。</p> <p>1つ目は、新校はこんな学校にしたい。</p> <p>2つ目は、高円寺の新しい学校ではこんな子どもに育てたい。そのためにはこういう教育理念や教育活動を大切にしていきたい。</p> <p>3つ目は、高円寺の特性として、地域にはさまざまな力があって、それを生かしていく。また、こういう部分が高円寺地域の特徴ではないかというご意見。</p> <p>4つ目は、1から3までのカテゴリーの意見を具体化していくために、その教育活動を支えるための施設や機能はこのようにあるとよいのではないかという意見。</p> <p>という形で、意見を振り分けさせていただいております。この内容を踏まえながら、本日は2つのテーマに絞って、さらに議論を深めていただきたいということになります。</p> <p>ご検討いただくテーマですが、1つ目が、高円寺の魅力、高円寺らしさを生かした学校というものはどんな学校なのか。新しい小中一貫教育校の教育活動や施設面などに、他の地域とは違う高円寺らしさというものを表現できることができれば、そこで育つ児童・生徒や地域の方から愛される学校になっていくのではないかと思います。非常に難しいテーマだと思いますが、ぜひグループで意見を出し合ってくださいますようお願いできればと思います。</p> <p>2つ目のテーマですけれども、教育活動を支える新校舎の施設・機能についてです。資料1でまとめました新校が目指す姿、育てたい子ども像、大切にしていきたい教育理念、教育活動を実現するための新校舎の施設・機能。また、最初に1つ目のテーマで検討していただきます高円寺らしさを生かした学校とするために必要な新校舎の施設・機能というものは、どういうものがあつたらいいのかということをごちょっと話し合ってくださいいただければというふうに思います。</p> <p>ここで出し合った意見が、次回の渋谷本町学園での視察の際にも生きるのではないかと思いますので、ご検討をよろしく申し上げます。</p> <p>次に、グループディスカッションの進め方になりますが、時間の関係もありますので、各グループに入っていらっしゃる校長先生と学校教育担当部長に進行役をお願いしたいと思います。</p> <p>また、書記役として、事務局の職員が各グループに入って、出された意見をまとめていただいたものを各机にある模造紙に書き込んでまいります。</p> <p>さらに、グループごとに発表者を決めていただきまして、検討した内容について模造紙を使用し、5分程度で発表していただければと思います。</p> <p>発表内容に対して、他のグループの方から感想や質問、意見など頂戴できる時間ということで、3分程度設けたいと思っております。質問等への対応は、発表者だけでなく、グループ全員で対応していただくようお願いいたします。</p> <p>ちょっと研修のようなスタイルになりますけれども、他の方の意見を否定することなく、リラックスして楽しみながら、さまざまな視点で意見を出していただけるとありがたいなというふうに思います。</p>
-------------------	---

	<p>それでは、時間の関係もありますので、グループディスカッションを始めていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>時間の目処は。</p>
新しい学校づくり係長	<p>発表の開始時間は 11 時 10 分からということで、約 1 時間でまとめていただくような形になります。大事なところが漏れておりまして、すみません、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>その他でご質問はございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、今から 1 時間ということで、ぜひ懇談をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>(グループディスカッション)</p>	
会長	<p>うちのグループは全然話が終わらなくて、まだあと 1 時間ぐらい話したいなと思っていたのですけれども、一応約束のお時間になりましたので、ここで発表に移らせていただければと思います。先ほど事務局からございましたが、発表で 5 分以内、それに対しての質問、感想等で 3 分ぐらいを目処にしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
1 班発表	<p>高円寺のまちらしさを生かした学校というところでは、ものすごくいっぱい話が出ていたところです。高円寺の良さ、商店街、それから阿波おどり、高円寺フェス、大道芸、皆でまちを盛り上げていっているところじゃないでしょうか。そして、そういうところにまちとしてのまとまりがあるところではないか、という意見が出ておりました。</p> <p>そうなってくると、割合、内に集束しがちなところなのですけれども、他の地域からの受け入れに関しても非常に心が広いじゃないですけれども、阿波おどりの連なんかはかなり厳しいルールも持っているところもたくさんあるのですが、中でもウェルカムみたいな、うまく取り入れていらっしゃるというところがありました。</p> <p>あわせて、今高円寺中は職場体験中なのですけれども、本当にほぼ全て地元のお店や企業でお世話をいただいています。私も幾つか回って来たのですけれども、すごくいいですね。「もう迷惑かけて申し訳ありません」と言ったら「とんでもございません」という感じで対応してくださるので、すごいなと思っています。</p> <p>そんな中で、杉八小のほうでは環境学習にも力を入れていまして、高円寺の阿波おどりのごみなんかを一体どうしたらいいのだろうというところで、3 年間ずっと阿波おどりに一緒に参加しながらごみを集めていく活動に取り組んでいらっしゃるって、ほんとにすばらしいことだと。</p> <p>高円寺ならではの古いものがあるのですけれども、新しいものもどんどんあちこちから入ってきて、商店街もどんどんお店が変わっているそうなのですけれども、そんなところも大事にしつつあると。</p> <p>不易と流行というものは学校の中でもすごく昔から言われていることなのですけれども、同じようなことがこのまちでも言えるのではないかと。</p> <p>また、そのようなところの基になっているのが、まちの人の優しさで、それがベースになってまちの子どもを育ててくれるのではないだろうかというふう</p>

に考えています。

その最たるものが、学校がお世話になっている学校支援本部であったり、PTAであったり、そういう人たちが本当に応援してくれて、子どもたちを育ててくれているというようなところがあります。

それぞれの子どもが、花いっぱい運動であったり、太鼓の活動だったりとか、お琴の発表であったり、これは学校だけではなくて、あちこちに発信しています。そういう中で、まちでも子ども自身が活動する場があって、保護者も一緒に参加できる、そういうようなところがあるのでいいのではないかと。

またあわせて、子どもを育てるのもそうなのですが、ご近所づきあいのように「あなた何やってるの」ではないですけれども、まちの子に声をかけてくださるし、そのようなところがあるのでいいのではないのでしょうか。

今、杉四小、杉八小、それから高円寺中それぞれのいいところがあるのですが、そういうところを大事にしながらコミュニティスクールをつくるのが十分にできる場所ではないのでしょうか、という意見がありました。

そんなふうにして子どもたちを育てていくことによって、いろんなものを子ども自身が感じて、見て、そして自分の良さを見つけて、そしてそれを育てていくために自ら勉強をしていく、学んでいくような子どもを育てていくことはできるのではないのでしょうか。

まとまりはあまりないのですが、まちの良さというのは、私も本当にこの通りかなと思って、皆さんと懇談をさせていただいて、おもしろい時間を過ごさせていただきました。

もう一つのテーマが、時間がすごく減ってしまったのですが、ではそういうことができる新しい学校ってどんな学校にしようかと懇談しました。これは夢や希望みたいなところも多々あるのですが、やっぱりまちの学校、高円寺のまちの学校として、まちの人と一緒に使えるということがやっぱり基本ではないのでしょうかというところです。

杉四小の天鼓隊や阿波おどりで、遠慮をしないと練習ができない活動も多々あるというところで、そういうような活動も邪魔にならないようにできる場所が、絶対なければだめだというところ。

それから、スペース的に高円寺中だけのスペースで考えるのか、杉四小も含めて考えるのかというのはこれからの課題だとは思いますが、両方ということであれば、杉四小と高円寺中を橋でつなぐ。そして、各々自由に行き来ができるようにしておいて、両方の施設を上手に活用していく。これは、私は目からうろこのアイデアでございまして、聞いてびっくりしました。

そして、公共施設はあながち中途半端になりやすく、いろんな制約があるから難しいところではあるのですが、やっぱり高円寺のまちにはこの学校という思い切った施設、思い切った学校ではなくて高円寺のまちの施設をつくったらどうでしょうか。そこで小中学生も一緒に考えるのですが、あわせて未就学の子どもたちも一緒にやっぱり考えていくことも必要だろうし、高齢者の方も考えていかなければいけない。常にいろんなまちの人たちがその施設を使いながら、子どもたちとの関わり、それから教員との関わり、それから学校支援本部との関わりなんかをフリーにできるようなところのスペースも考えていかないと、まちの学校にはなり得ないなというようなご指摘もいただ

	<p>いていました。</p> <p>あとは杉四小。オープンスペースの教室になっていますので、2組を1組で、とかというのは非常にうまく使えるみたいなのところもあって、このあたりもぜひ参考にしてほしいということと、杉八小では環境学習にずっと取り組んでいらっしやいます。そのようなところも見て、エコスクールという考えがあると思うのですが、そういう面でのやはり環境にも優しいというところは忘れてはいけないのではないかというような意見も出ておりました。</p> <p>時間があつたらこの後もっといけたと思うのですが、時間になってしまったので、このぐらいにしたいなと思っています。ありがとうございました。</p>
会長	<p>何かございますか。ご意見でも。よろしいでしょうか。</p> <p>では、2班にまいりたいと思います。</p>
2班発表	<p>それでは、2班の発表をさせていただきます。</p> <p>ざっくばらんにというところで、いろんな話題から入っていきました。主に出てきた内容としまして、人との関わりについての部分が非常に多く話されたかなというふうに思います。</p> <p>まず、基本的な生活習慣であったり、特色を何か付加した学校だったりしていきたい。何かに特化した学校がいいのではないかというようなご意見が出てきました。</p> <p>そういう中で、小中だけではなくて、子供園も含めた形で、子小中で育むコミュニケーション力だとか、社会性の大切さだとか、そういったものが育つ学校づくりというのを目指していけたらというような話も出ました。</p> <p>やはり地域の子どもという意識で、地域に支えられるような学校づくりというのがいいのではないかとということで、もちろんこれは先ほど言いましたように就学前の部分との連携も含めた形で、学校がいわゆる核となって地域とつながって、地域全体の教育力を生かしながら、子どもの顔、全ての児童・生徒がどこの誰だかわかるような形の、そういう温かい学校がいいのではないかとというようなご意見も出ました。</p> <p>あと、体験から学べる学校として、国語、英語力が自然と身につく学校にしたいという中で、生活におけるコミュニケーション能力の向上というのも目指していきたい。</p> <p>では施設のほうはということですが、地域の方が集まれるフリースペースが必要であるというようなところです。やはり誰でも入って行って、子小中の子どもたちと様々な異年齢交流のようなものができる学校。例えば年配の方から昔の生活体験を学んだりだとか、あるいは戦争体験だとか、そういったものを生の教材として教えていただけるようなスペースがあるといいのではないかとというようなお話もありました。</p> <p>また、広いランチルームですね。就学前との交流を深めたり、とは言っても、学習スペースと交流スペースとの線引きといいますか、その合流する部分と線引きする部分もしっかり考えられた学校にしたいということです。</p> <p>あとは学制というか、1年生から9年生と見るのか。6 - 3制の中で6年生のリーダーシップをどう考えていくかというような話題もありました。</p> <p>また、支援が必要な子どもが全員通える学校。特別支援教室だとか、あるいは支援の必要なお子さんが、クールダウンのできるようなスペースをつくった</p>

	<p>りとか、そういったものがある学校。いわゆるいろんな人たちと共存できる学校づくりというものを目指していきたいということも話に出ました。</p> <p>あと、防災の拠点としての充実した機能を持つ学校だとか、小アリーナ、大アリーナは必要であるとか。あと、校舎を建て替えるのですけれども、やはり体力向上というところから、広い校庭も確保したいと、もうとりあえずざくばらんにということで、いろんなご意見をいただきました。</p> <p>あとプールですね。小学校、中学校それぞれあったほうがいいのではないかと、あるいは床が移動してできるようなそういうプールが必要なのかと。もっと言えば、7階建てにしようというのが出てきました。校舎は9階まで建てられるんですかみたいな話題も出たのですけれども、防災上どうなのかなとか。それなら、地下に埋めてしまって、今度行く渋谷の学校は地下3階なので、では上が4階、下3階の7階ぐらいだったらいいのではないかと、そういうような話題も出てきました。</p> <p>また、体育館、アリーナの他に、パーテーションで仕切って多目的に使用できるスペースなども必要と話題になりました。</p> <p>あと、先程もらしてしまったのが、英語の力がつく学校ということで、これは一つ特色にしてもいいのではないかとということで、例えば外国人の先生が常駐している学校だとか、小学校にも英語の専科の先生を置けないかと、いろいろな意見が出ました。</p> <p>私どもの班も、やはりまだまだ話が出尽くしていないというような状況で、一応これが1時間話した内容になっております。</p>
<p>会長</p>	<p>ご質問はよろしいでしょうか。大丈夫でしょうか。ありがとうございました。</p>
<p>3班発表</p>	<p>3班では、まず高円寺らしさというところで、高円寺の熱い力ってなんだろうというところから話をしました。やはり目的があると人が集まり、力を出すというのは、やはり阿波おどりであったり、高円寺フェスであったり、大道芸であったり、何かやっぱりそういうことがあると、皆が集まって力を出して盛り上げていこうという、そういう熱い力があるよねという話が出ました。</p> <p>目的は阿波おどりだけでなく、スポーツなどでも人は連携によって活力を出している。その裏には、やはり高円寺の中に魅力と能力のある人が多いからだろうと。子どもたちのスポーツとかにしてみても、杉八小は琴とか、天鼓隊とかいろいろあると思うんですけれども、やはり教えてくださる方たちの、指導者の人たちが、ただのボランティアだけではなくて、とても熱い気持ちで子どもたちに接してくださっているの、やはりそれで子どもたちもそれに応えて頑張っている。頑張っている子どもたちを見ていると、親たちも応援したくなる。そういうようなつながりがある地域ではないかなと思います。</p> <p>今の高円寺というのは広場がなく、どこかに行けば友達がいるという、昔のそういう時代ではなくなってしまうと、今はどこが核になっているのかなと思うと、児童館だったり、校庭だったり、そういうところに子どもたちが集まっては来ているのですけれども、逆に言えば子どもたちの活動に今制約が多くて、活発に行動する場所がないかなというのが、テーマとちょっと違うのですけれども、そういう話も出ています。</p> <p>先ほどの能力や魅力のある人が多く、人脈がすごくあるので、そういう人た</p>

ちが活用されているのではないかと。「こんなことをしたいね」と言ったときに、「じゃあ誰々さんならきつとやってくれるわよ」とか、「あの人がきつと上手よ」とか、何か言ったときに、能力を引き出せるような人脈が、このまちには息づいているのではないかという話が出ました。

それと、やはりボランティア精神の高いまちではないかと。何かやってほしいというときに、損得なしで「いいよ」と言って手を差し伸べてくださる、そういう人たちが多いのが高円寺じゃないかなというふうに言っていました。私なんかは、「高円寺ってどういうまち？」と聞かれたときには、「山の手の下町みたいなまちだよ。そういう熱い人情がある人たちが多いまちだよ」というふうに、よく新しく来た先生方とかにはお話したりするのですけれども、やはりちょっと北と南とでは、商店街と住宅街というところでちょっと地域性の違いがあるのですけれども、そういうボランティア精神が高くて、何か目的があると一生懸命力を出してくれる人たちが多いいところでは共通なのかなというふうに思いました。

次に、教育活動を支える新校舎の話なのですが、まず、地域のコミュニティというふうになってほしいという思いは皆さんお持ちなのですけれども、その中で、教育と遊びのメリハリはきちんとつけられる学校。地域の人たちが入ってきてくださるのはいいのですけれども、それで逆に落ち着かなくなってしまうって学習に身が入らなくなってしまうような、そういう学校ではいけないのではないかと。やっぱり学習するときには、きちんとそれに集中できるようになっている学校であってほしいと。

そうなってくると、子どもたちが自由に遊べる、そのときの時間の使い方が、どういうふうにやっていくかということが大切です。そういう中で、セキュリティと、安心、安全な学校というイメージからいうと、誰でも入って来られるということは逆にすごくセキュリティが不安になってくる場所があります。親として安心して子どもを預けられるというところでは、そこはきちんとどういふふうな方法をとるか、これから皆さんと考えていかなければいけないと思います。

あとは自然と触れ合える、そういう学校でありたい。学校全体を自然に近づける工夫が必要なのではないかと。先ほど、思いっきり子どもたちが遊べるスペースがないところにもつながり、今後は学校にそういう機能が求められてくるのではないかという意見が出ています。

例えば、学校の中に地域の人も入ってきてもらいたいというところでは、やっぱりスポーツ機能とかを、スポーツセンターというか、そこまでいかないにしても、そこに地域のスポーツクラブとかが集まって、子どもたちを育てていく。そこに地域の人たちも入ってきて、スポーツ施設を使えるような場所であっていいのではないかと。

それと、新しい学校の中か、杉四小かわからないのですけれども、科学館的な機能。何かやっぱり新しい学校の魅力となるようなものというのが必要なのではないかなと。公立小学校なので、すごくそこに科学館的なものが特化してしまうのはよくないと思うのですけれども、ただ、高円寺というまちは駅からも近いですし、今までバスで科学館とか行っていたのを電車を使ってそこを利用できるということも考えられます。そこに科学館的な機能があって、理科の

	<p>スペシャリストの先生がいる。その先生たちに、新しい学校の子たちは教わることもできるし、その施設も使わせていただくことができる。区全体の子たちもそこを利用できる施設であって、さらにそこは幼児からも利用できて、小さい頃から高円寺に住んでいる子たちは科学に触れられることができる。それはもしかしたら、自然と触れ合うというところにもつながってくるのかもしれない。理科というか、そういうところにつながってくるのかもしれないのですけれども、思いつきり遊べるというところでは、校庭は土でもいいよねと。泥だらけになって遊べるようなのもいいよねというような話も出ています。</p> <p>だから新しい学校というと、すごい何か未来的な、というイメージを持ちがちなのだけれども、逆にちょっとエコスクール的な、自然と触れ合えるようなそういう季節感のある学校、そういう施設であってほしいなというようなことが出ています。</p> <p>何かご質問等ございますでしょうか。とりとめもないのですが。では、これで発表を終わらせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
4 班発表	<p>第 4 班、発表させていただきます。</p> <p>現在の高円寺というのは、3 校とも地域の方が本当にさまざまな形で関わってくれている。すでに 3 校とも本当に地域に根ざした学校である。地域と学校が結びついた学校で、これからも新しい学校はそうでなければいけない。</p> <p>学校に気軽に足を運べる、そして逆に子どもたちも地域に出て行ける。地域の方が学校に入れるかわり、学校が地域に出て行くと、地域の方が学校を見てくれる。子どもを見てくれる、そういう学校にしていきたいと。地域自体が大きな学校だというイメージの新しい学校にしていきたいと。</p> <p>そして、既に 3 校で行われている地域との運動もさらに発展させて、今やっている地域との結びつきをさらに発展していく必要があるだろうと。無機質ではなくて、有機的、人間味のある学校がやはり高円寺には一番適しているのではないかという話をしました。</p> <p>そして挨拶が、非常にやはり高円寺ではどの学校もきちんと今進んでできていると。その挨拶を生かして、まち全体明るくなるような形の新しい学校ができればいいのではないかという話をしました。</p> <p>そして、ここから先は、子供園の意味が非常に大きいのではないかと。そうしていくと、やはり 9 年教育というよりも 11 年教育。11 年間のつながりのある学校がやはり大きな意味があるのではないかというふうに話が出ました。11 年の教育のできる学校になれば日本初、子供園・小学校・中学校、これが一体化した学校という、まさに P R 的にも中身的にも、全国的にも一番注目度のある学校になるのではないかと、そういう話も出ました。</p> <p>地域のコミュニティの場になる学校。学校がやはり地域の中心である、そういう新校でなければいけないだろうというふうにまとめました。地域のコミュニティの場になる学校というところがメインで考えますと、当然新しい校舎も地域のコミュニティの場がなければいけないだろうと。コミュニティスペースがやはり学校の中にきちんと存在がある、そしてその地域のコミュニティスペースを使って子どもたちが勉強もできるし、地域の方も使えるし、いろいろな</p>

	<p>形で学校の教育プラス地域の方もそこで学べる、そういうような学校が必要だろうと。そして、その部分が個別になるのではなくて、お互いうまくクロスし合う、学校の教育の部分も地域の方が使う部分もお互いうまくクロスし合えるような施設の配置が必要ではないのかなという話をしました。</p> <p>例えば、休み時間に地域の方が子どもたちと話せるような形ができるとか、休み時間にお年寄りの方が来て、子どもたちを見ながらお茶飲み話ができるとか、そういうのもいいのではないかという話が出ました。</p> <p>それから、自然がやはりあふれる学校。渋谷のそのパンフレットを見ると、まさに全部人工的な形で、木が1本もないというような形で、そういう形はやっぱり新しい学校としては飛びつかないのではないかと。やはりある程度自然がある、自然と触れ合える学校が必要であろうという話が出ました。</p> <p>そして、先ほどの11年間の教育を行うには、スペースが必要だなというふうに考えていくと、やはりそれなりに大きな建物も、枠も必要であろうと。そして、グラウンドは人工芝のほうがいいのではないかと。自然芝も考えられるけれども、メンテナンスやいろいろな使い勝手を考えると、人工芝という手もあるのではないかという話が出ました。あと、床が上がり下がりするプールという話が出ましたけれども、やはりこれは必要であろうと。そして体育館も屋上に上げるとか、地下に入れるとか、いろいろな考え方もやはり考えていく必要があるだろうという話が出ました。</p> <p>それから、環七がやはり非常にそばにあって、通学面が非常にポイントになると思います。これも話題として出ていますけれども、安全に横断できる、やはりデッキは必要であろうと。</p> <p>そして、現在各校で行われている和太鼓とか、阿波おどりとか音楽とかですね。琴が使えるようなスペース、防音設備のあるスペース。地下にもぐるとか、あと本当に周りを囲んで使えるとか、皆で阿波おどりが練習できるスペースであるとか、そういうようなコミュニティスペースですね、まさに。そういう部分がやはりうまく配置された学校、そういうものが新校舎としてほしいなというところになりました。</p> <p>以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。何かありますか。大丈夫でしょうか。</p> <p>本当に前回もおもしろかったのですけれども、今日もとっても有意義な時間を過ごさせていただいたなと思います。</p> <p>高円寺のまちの学校というのは、やっぱり基本的なコンセプトになるのかなというふうに思いますし、人とかかわり、それからつながりのあるコミュニティを学校とまちでつくっていくというところが、きっと一つ大きなポイントになるのかなというふうに思います。</p> <p>教育長が常々「学校づくりはまちづくり」というふうに言っているのが、非常によくわかります。「学校をつくるんじゃないよ。まちをつくるんだよ」というのは常々言われているところなのですけれども、ではこれをどうやっていくのかというところで、学校だけではなくて、まちの人と皆で考えていくことができるというのは大変素晴らしいなというふうに思いますので、ぜひ皆さん方の知恵や力を借りながら、高円寺ならではの学校づくりをともに考えていきたいなというふうに思っていますので、よろしく願いいたします。</p>

	<p>それでは、このグループディスカッションについてはここまでとしたいと思いますが、まだ議題も残っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>次第の2つ目になりますが、新校舎の校地です。前回の懇談会で用途地域についてのご質問をいただいております。そこにつきまして事務局からご説明いただけますでしょうか。お願いたします。</p>
<p>新しい学校づくり係長</p>	<p>それでは、資料2でございますけれども、前回の懇談会で、杉並和泉学園の校舎の特徴などについて説明させていただいた際に、高円寺中学校が新校の校地になるわけですけれども、杉並和泉学園の校地等の建築条件等の比較についてちょっとご質問いただいたのですが、明確にお答えができませんでしたので、改めて資料として作成をさせていただきました。</p> <p>まず、敷地面積ですけれども、杉並和泉学園の場合は現在の和泉小と和泉中の2校の校地を活用するということで、現在の高円寺中の校地と比較すると約1.6倍程度広くて余裕があるというような形になっております。</p> <p>次に用途地域ですが、裏面に現在の校地の図がございます。そこに用途境界線が入っているかと思えます。現状は、環状七号線側が近隣商業地域、境界線の東側が第二種中高層住居専用地域となっております。</p> <p>表を見ていただきますと、米印のただし書き、防火地域及び角地による緩和を加算となっておりますが、そちらも加味しまして、高円寺中の校地の建ぺい率は、記載のとおり86%となります。</p> <p>容積率につきましても266%ということになりまして、杉並和泉学園の用途地域での建築条件と比較すれば、建てようと思えば相当な建物が建てられるわけなんですけれども、当然校庭の面積というところも確保していかなければいけないというところで、今後校舎の配置だったり、校舎のボリュームだったりを考えなければいけないということになっています。</p> <p>次に、高さですけれども、用途地域としては高さ制限はないのですが、日影規制だったり、道路斜線などによる制限があります。それと建築安全条例の関係で、延べ面積が3,000平米以上で、かつ高さが15メートル以上のものを建てる場合については接道との関係がございまして、6メートル以上の道路に10メートル接していなければならないというのがあります。ちょっとその辺の条件が今クリアしていないので、例えば15メートル以上の高さのものを建てようとなった場合につきましては、建築課との協議が必要になってくると、そういうような状況になっております。</p> <p>規模の欄に、学級数と児童・生徒数、それぞれ現在の高円寺地域の3校の今年5月1日現在の数字と、あと、杉並和泉学園を構成する新泉小、和泉小、和泉中の3校の数字を参考に入れさせていただいております。高円寺地域につきましては、和泉地域の現状と同じで、学級数からすると22学級ということになっております。実際に括弧内で教室数が杉並和泉学園の欄に入っておりますけれども、一応新校舎に確保する普通教室数としましては、転用可能な教室数も含めまして、小学校24教室、中学校10教室ということで設置される予定となっております。</p> <p>今後新校舎の基本設計に向けた具体的な検討をしていく時期もまいりますので、こちらの資料も後々参考にさせていただければということでお出ししました。</p> <p>以上になります。</p>

会長	<p>どうもありがとうございました。何かご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
委員	<p>この新泉・和泉の実際の教室数、小学校 24、中学校 10 教室というのは普通の教室であって、特別教室は除いてですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>除いてです。</p>
会長	<p>他にはいかがでしょうか。では何かご不明な点がございましたら、事務局にお問い合わせいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第の 3 つ目にまいりたいと思います。先ほどからございますが、今回は視察というような予定になっております。施設一体型の小中一貫教育校の先行事例ということで、渋谷区立渋谷本町学園を視察します。</p> <p>今日のグループディスカッションでは、後段のほうで新しい学校の施設ということでご議論いただいていますので、そういうところを踏まえて、さらに小中一貫教育校を肌で感じると。</p> <p>また、数年前に行ったことがある方もいるかもしれませんが、数年経った状況を向こうの先生から話を聞くいいチャンスかなというふうにも思いますので、さらに小中一貫校のイメージを膨らませていきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、この概要につきまして事務局からお話いただけますでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>本日、参考資料として、渋谷本町学園のリーフレットを配付させていただいております。その間に、次回懇談会の開催通知と、質問票、2 年前こちらの高円寺地域の準備会で同校を訪れたときの質疑応答のメモを挟んでおります。</p> <p>まず、開催通知をご覧ください。7 月 15 日の集合時間と場所ですが、12 時 20 分に、こちら杉四小の西側の校門前に一旦ご集合いただければと思います。委員の皆さんに集合していただき、杉四小の東側の環七沿いにバスを配車させますので、それで渋谷本町学園に向かいたいと思っております。</p> <p>視察時間は、13 時から 15 時までということで、2 時間をお願いをしています。ちょうど到着しまして、13 時から昼休み時間ということになりまして、小学生・中学生の休み時間の過ごし方を見させていただけるのではないかと思います。その後、視察先でお話をお伺いしたり、学校施設を見学させていただきまして、3 時までお話を伺いして、帰りは 3 時 10 分過ぎぐらいに現地を出まして、こちらのほう 3 時半から 3 時 40 分ぐらいに到着するような、そんな行程で考えております。</p> <p>次に質問票ですけれども、こちらのリーフレットだったり、2 年前の視察の際のメモなんかもちょうと参考にさせていただきながら、視察時に先方に伺いたい内容をご記入いただきまして、7 月 4 日までに事務局まで、FAX またはメールでも結構でございますので、ご提出をお願いできればと思います。事前に先方に質問内容をお知らせしておきまして、当日しっかりとお答えいただけるようにしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。</p> <p>以上になります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。何か、視察につきましてご質問ございますか。</p>

委員	この渋谷本町の敷地面積ですかね、そういうのが先にわかるといいかなと思ったのですけれど。
新しい学校づくり係長	<p>前回懇談会で当日配付した資料があるのですけれども、視察先は渋谷本町学園でよろしいですかというような資料でそこに掲載されています。</p> <p>現在の高円寺中の校地が、11,289 m²でございますので、若干高円寺のほうの校地のほうが広いような形になってはいますが、またこちらも建築用途が異なると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ではまたちょっと視察までに、ちょっと比較ができるようにしていただくと助かります。</p> <p>他にはいかがでしょうか。視察に関係しまして。</p>
委員	この渋谷本町学園というのは、前のこの視察のときのメモで、学区外から通う児童・生徒が10数名増えたというようなことがあるのですけれども、ここも今も選択制をとっている学校なのですか。
新しい学校づくり係長	2年前は学校希望制度をやっております、今もやられていますが、例えば新しい校舎、機能になって、他の地域に行かれていたお子さんが戻ってきたということもあるでしょうし、他地域のほうから新しい学校のほうへ来られたという方も増えていらっしゃるのではないかなというふうに思います。
委員	現在も選択制はとられている地域であるということですか。わかりました。ありがとうございます。
会長	<p>他はいかがでしょう。</p> <p>では、視察に関してまた何かございましたら、事務局にお問い合わせいただければというふうに思います。</p> <p>それでは、事務局からその他についてお願いできますでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>では、事務連絡になりますけれども、今回の懇談会の開催通知とあわせて、第2回懇談会の会議録案を委員の皆様へ送付させていただいております。内容をご確認いただきまして、趣旨がちょっと違っていますよというようなことがありましたら、補正したいと思いますので、本日中に事務局へご連絡をお願いできればと思います。</p> <p>次に、今日、席上配付で「高円寺地域新しい学校づくりニュース創刊号」を配付させていただきました。このニュースは、児童・生徒、あと就学前児童の保護者等への配布、町会の回覧等をお願いしまして、広く地域の方に高円寺地域の新しい学校づくりに関して、進捗状況をお知らせするために発行していくものでございます。こちら創刊号につきましては、7月上旬を目処に、各所に配布をしていきたいというふうに考えております。</p> <p>次回第4回は、視察ということになるわけですけれども、その次の第5回目の懇談会なのですが、あまり視察から時間を置かないうちに、皆さんがいろいろ記憶されている間に開催できればと思っております。第5回については新しい学校施設の機能、今日の続きみたいな形になりますけれども、視察先の状況もちょっと参考にしながら懇談ができればというふうに考えています。7月下旬から8月上旬にかけて開催できればというふうに考えておりますので、この後、日程調整につきまして、会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>

会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今もございましたが、第5回目の日程は、ここで決めていきたいなと思っています。幾つか私のほうで候補日を言っていきます。</p> <p>(日程調整)</p>
新しい学校づくり係長	<p>各候補日、本日は欠席の委員の方も多いので、休まれた委員の方にも聞かせていただいて、またご連絡差し上げたいと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>あとは事務局にお任せいただくということで、お願い申し上げます。</p> <p>それでは、他に何か委員の皆様からございますか。</p> <p>事務局からはよろしいですか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、以上で第3回目の懇談会終わります。</p> <p>それでは以上、本当に長い時間ありがとうございました。お疲れさまでございました。</p>